

協働事業計画評価書

事業者名	地区名	対象品目	計画内容	到達目標	現状値 (ha):R1	目標値 (ha):R5	実績値(ha)				達成率 (%)	検証方法	地方農政局等による評価	
							R2	R3	R4	R5				
拠点事業者 そうべつアグリフーズ株式会社	北海道 有珠郡 壮瞥町	野菜 (たまねぎ)	<b>【1 生産安定・効率化機能】</b> ①作付面積の拡大(他産地)及び 直播栽培の実施 ②高性能収穫機・灌水システムの 導入 <b>【2 供給調整機能】</b> ①貯蔵・選果・加工施設の整備 <b>【3 実需者ニーズ機能】</b> ①グローバルGAP団体認証の取得 ②食品安全システム認証 FFSC22000の取得	総生産面積 の10%以上 の増加	13.5ha	70ha	30.5ha	45.0ha	55.4ha	2.3ha	-19.8%	・到達目標である「総生産面積の10%以上の増加」について目標年度における総生産面積は2.3haであり未達成となった。 到達目標未達の主要因は、令和5年に連携者である有限会社ミナミアグリシステムがそうべつアグリフーズの経営及び協働事業計画からの脱退した。このことによる原料の供給減少及びそうべつアグリフーズ株式会社の事業譲渡による生産規模縮小の影響である。  なお、協働事業計画において拠点事業者が三つの機能において具備・強化をはかることとされている。取組状況は以下のとおり。	<b>【1 生産安定・効率化機能】</b> ・令和4年度までは壮瞥町玉ねぎ生産加工組合を中心に、安定した原料供給に向けて作付面積を拡大し、伊達市や安平町等の他産地にも順調に作付面積拡大を図っていた。しかし、本事業において原料供給の取りまとめ役としていた有限会社ミナミアグリシステムが協働事業計画から脱退したことで、有限会社ミナミアグリシステムがトップを務める壮瞥町玉ねぎ生産加工組合を含め、本事業の原料供給量及び作付面積が減少となった。 ・灌水システムの導入や高性能収穫機の収穫作業受託により労働力の省力化を図っている。	
連携者1 有限会社ミナミアグリシステム	北海道 有珠郡 壮瞥町													<b>【2 供給調整機能】</b> ・貯蔵・選果・加工施設の整備により貯蔵施設での原料保管・調整を行いながら剥き玉ねぎをはじめとした業務用加工製品の効率的な製造、販売に取り組んでいた。しかし、有限会社ミナミアグリシステムの協働事業計画からの脱退の影響で、取扱数量が減少し施設稼働率が芳しくない状況である。
連携者2 壮瞥町玉ねぎ生産加工組合	北海道 有珠郡 壮瞥町													<b>【3 実需者ニーズ機能】</b> ・グローバルGAP団体認証の取得や食品安全システム認証FFSC22000の取得し商品の付加価値の向上に取り組んでいる。

## 別添様式2

## 事業評価書

拠点事業者: そうべつアグリフーズ株式会社

事業	成果目標の達成率※	総合所見
令和2年度 強い農業・担い手づくり総合支援交付金 生産事業モデル支援タイプ (推進事業)	22.0%	令和5年、原料供給を担っていた有限会社ミナミアグリシステムが、そうべつアグリフーズ株式会社の経営及び協働事業計画からの脱退した。このことにより、原料供給が減少し、全体の取扱数量が減少となり、最終的に販売額も目標未達となった。 そうべつアグリフーズ株式会社は調達コスト増による負債の負担増から、新会社へ事業譲渡を行った。今後は収益性が高い加工製品を主体とした生産計画等により経営再建を図ることが第一優先ではあるが、成果目標の達成に向けた取組も指導していく。 【成果目標】 販売額の10%以上の増加 (現状)50,760千円 (目標)304,738千円 (実績)106,582千円
令和2年度 強い農業・担い手づくり総合支援交付金 生産事業モデル支援タイプ (整備事業)	71.7%	令和3年度実施の整備事業である農産物処理加工施設の完成及び稼働が、1年遅れ(令和4年3月完成同年4月稼働が1年遅延)となったことにより目標が未達となった。 そうべつアグリフーズ株式会社は調達コスト増による負債の負担増から、新会社へ事業譲渡を行った。今後は収益性が高い加工製品を主体とした生産計画等により経営再建を図ることが第一優先ではあるが、成果目標の達成に向けた取組も指導していく。 【成果目標】 全出荷量に占める加工向け又は外食・中食向けの出荷量の割合増加 (現状)0% (目標)60% (実績)43%
	11.0%	令和5年、有限会社ミナミアグリシステムがそうべつアグリフーズ株式会社の経営及び協働事業計画から脱退したことにより、原料供給が減少したことや自社製品への加工が主体となったため、加工用原料としての仕入の割合が多くなり目標未達となった。 そうべつアグリフーズ株式会社は調達コスト増による負債の負担増から、新会社へ事業譲渡を行った。今後は収益性が高い加工製品を主体とした生産計画等により経営再建を図ることが第一優先ではあるが、成果目標の達成に向けた取組も指導していく。 【成果目標】 当該品目の契約取引数量を10%以上増加 (現状)0% (目標)38.2% (実績)4.2%
令和3年度 強い農業・担い手づくり総合支援交付金 生産事業モデル支援タイプ (推進事業)	11.4%	令和5年、原料供給を担っていた有限会社ミナミアグリシステムが、そうべつアグリフーズ株式会社の経営及び協働事業計画からの脱退した。このことにより、原料供給が減少し、全体の取扱数量が減少となり、最終的に販売額も目標未達となった。 そうべつアグリフーズ株式会社は調達コスト増による負債の負担増から、新会社へ事業譲渡を行った。今後は収益性が高い加工製品を主体とした生産計画等により経営再建を図ることが第一優先ではあるが、成果目標の達成に向けた取組も指導していく。 【成果目標】 販売額の10%以上の増加 (現状)50,760千円 (目標)539,806千円 (実績)106,582千円
令和3年度 強い農業・担い手づくり総合支援交付金 生産事業モデル支援タイプ (整備事業)	67.0%	令和3年度実施の整備事業である農産物処理加工施設の完成及び稼働が、1年遅れ(令和4年3月完成同年4月稼働が1年遅延)となったことにより目標が未達となった。 今後は、そうべつアグリフーズ株式会社の新会社へ事業譲渡により経営再建を図ることが第一優先であるため、経営状態の把握に努めながら成果目標の達成に向けた取組も注視していく。そうべつアグリフーズ株式会社は調達コスト増による負債の負担増から、新会社へ事業譲渡を行った。今後は収益性が高い加工製品を主体とした生産計画等により経営再建を図ることが第一優先ではあるが、成果目標の達成に向けた取組も指導していく。 【成果目標】 全出荷量に占める加工・業務用向けの割合を5ポイント以上増加 (現状)0% (目標)64.2% (実績)43%
	11.0%	令和5年、有限会社ミナミアグリシステムがそうべつアグリフーズ株式会社の経営及び協働事業計画から脱退したことにより、原料供給が減少したことや自社製品への加工が主体となったため、加工用原料としての仕入の割合が多くなり目標未達となった。 そうべつアグリフーズ株式会社は調達コスト増による負債の負担増から、新会社へ事業譲渡を行った。今後は収益性が高い加工製品を主体とした生産計画等により経営再建を図ることが第一優先ではあるが、成果目標の達成に向けた取組も指導していく。 【成果目標】 当該品目の契約取引数量を10%以上増加 (現状)0% (目標)38.2% (実績)4.2%

※小数点第1位まで記載する

別添様式3

到達目標の達成率が90%未満の拠点事業者

拠点事業者: そうべつアグリフーズ株式会社

【北海道農政事務所】

成果目標の 具体的な内容	現状値	目標値 (令和5年)	事業実施後(目標年度)	目標 達成 状況	改善目標 年度	(参考) 改善指導の判断理由
			実績値			
総生産面積の10%以上の増加	13.5ha	70ha	2.3ha	-19.8%	令和9年度	達成状況が-19.8%と低調であり協働事業計画に沿った取組を継続していくために改善指導が必要である。経営再建に向けた取り組みが第一優先となる中で補助事業により整備した施設や農業機械を最大限活用することが事業再建につながる。したがって改善指導にあたっては、経営改善を後押しする観点からも作付面積や取扱数量の拡大に向けた取組の強化を指導していく必要がある。

(注)1. 価格補正を行っている場合は価格補正後の実績を記入する。

別添様式4

成果目標の達成率が90%未満の拠点事業者

拠点事業者: そうべつアグリフーズ株式会社

【北海道農政事務所】

事業内容	補助対象 取組	成果目標の具体的な内容	現状値	目標値 (令和5年)	事業実施後(目標年度)	目標 達成 状況	改善目標 年度	(参考) 改善指導の判断理由
					実績値			
令和2年度 強い農業づくり総合支援交付金 生産事業モデル支援タイプ (推進事業)	農業機械リース 導入	販売額の10%以上の増加	50,760千円	304,738千円	106,582千円	22.0%	令和9年度	達成状況が90%以下と低調であるため改善指導が必要である。経営再建に向けた取り組みが第一優先となる中で補助事業により整備した施設や農業機械を最大限活用することが事業再建にも繋がる。したがって改善指導にあたっては、施設や機械の稼働率向上の観点からも、作付面積や取扱数量の拡大に向けた取組の強化を指導していく必要がある。
令和2年度 強い農業づくり総合支援交付金 生産事業モデル支援タイプ (整備事業)	集出荷貯蔵施設 新設	全出荷量に占める加工向け又は 外食・中食向けの出荷量の割合増加	0%	64.2%	43.0%	67.0%		
		当該品目の契約取引数量を10%以上増加	0%	38.2%	4.2%	11.0%		
令和3年度 強い農業づくり総合支援交付金 生産事業モデル支援タイプ (推進事業)	GGAP認証取得	販売額の10%以上の増加	50,760千円	539,806千円	106,582千円	11.4%		
令和3年度 強い農業づくり総合支援交付金 生産事業モデル支援タイプ (整備事業)	農産物処理加工施設 新設	全出荷量に占める加工業務用向けの割合を5ポイント以上増加	0%	64.2%	43.0%	67.0%		
		当該品目の契約取引数量を10%以上増加	0%	38.2%	4.2%	11.0%		

(注)1. 価格補正を行っている場合は価格補正後の実績を記入する。